

韓国の歴史教科書（高等学校） 教育科学技術部検定（2010. 7. 30.）

拓植大学下條正男（7/2）

韓国の歴史教科書の特質

(1) 『韓国史』（チョンチュエ教育）

- 「独島の話」（154 頁）. 太政官指令が根拠
- 「東アジア、交流と協力の方向に出よう」（404 頁）
- 「韓・中・日、歴史紛争」（405 頁）  
→良心的市民は植民支配と侵略戦争を美化→反発

(2) 『韓国史』（チハク社）

- 「主題深化学習」（153 頁）探求資料 1-独島はわが領土.  
「大韓帝国勅令第 41 号」、「島根県告示第 40 号」が根拠
- 「国際社会の課題と展望」（329 頁）  
「東アジア国家間の葛藤」（竹島・尖閣・北方領土）  
→歴史教科書の記述をめぐる紛争は主に日本の侵略戦争と植民支配を正当化する動き
- 「望ましい歴史認識」（333 頁）→東北アジア歴史財団アドレス

(3) 『韓国史』（ポオンムン社）

- 「大韓帝国の領土問題」（192 頁）  
「独島問題」  
「独島を韓国領土と認定した日本の公文書」→太政官指令が根拠
- 「東北アジアの葛藤 問題と望ましい関係」（366 頁）  
「靖国神社」  
「東北アジアの領土問題」→わが領土独島の歴史→東アジア平和問題研究所アドレス
- 「独島を自国の付属領土から除外した日本の法令」  
→「大蔵省令第 4 号」「総理府令第 24 号」
- 「日本の領土紛争」（367 頁）  
「東北アジアの歴史葛藤」（369 頁）→日本との歴史葛藤  
→過去の誤りを心底から反省していない
- 「扶桑社中学校歴史教科書の歴史認識」扶桑社は「現在の立場でなく、徹底して過去の立場から当時の人々の行いを考えことを中心に歴史を把握しようと主張」  
→「過去に対する反省を徹底し、排除している」と批判  
→東北アジア歴史財団アドレス
- 「望ましい国際関係の模索」（371 頁）  
→侵略を進出に変え、日本軍慰安婦事件を歴史記録から削除

(4) 『韓国史』(ミレエンコルチョグループ)

「独島を守護しようとしたが日本に強奪された」(172 頁)

→林子平『三国通覧図説』所収「三国接壤図」を根拠

「大韓帝国の意義と独島問題」(173 頁)

1、資料 2~4 を参考に独島がわが領土である理由を発表しよう)

2、図書館やインターネットで資料を探し、独島がわが領土である歴史的根拠、独島の経済的・軍事的価値、日本が自国の領土と主張する根拠、わが政府と日本政府の対応、今後の展望などを含めた報告書を作成しよう。

「東北アジアの領土と歴史葛藤」(396 頁)

「東北アジア領土葛藤の中心、日本」(397 頁) →北方領土・尖閣・竹島

「知ってみよう」

「憂慮される日本の右傾化傾向」/「軍国主義復活を憂慮する日本人の動き」

「独島はわが領土」(398 頁) →「**島根県議会は竹島の日を制定した (2005)**」

「探究活動」歴史歪曲に対する対応

「日本の扶桑社歴史教科書、重要歪曲内容」

「韓日併合条約は無効だ」→「韓日知識人 214 名の併合 100 周年共同宣言」2010. 5. 10

(5) 『韓国史』(サムファ出版社)

「間島と独島」(188 頁)

「歴史教科書及び靖国神社参拝をめぐり対立する」(386 頁) →東アジアの歴史紛争

「領土問題をめぐって対立する」(387 頁) →年表「**竹島の日制定**」

「日本の戦争責任問題はいまだ未解決の課題だ」→東アジア共同歴史教材を作った

「日本の主張を次のインターネットサイトを参考に歴史的根拠を示し批判してみよう」

→駐日韓国大使館・駐韓日本大使館・東北アジア歴史財団サイバー独島館・**島根県竹島問題研究所** (389 頁)

(6) 『韓国史』(ピサン教育)

「間島と独島問題」(190 頁~191 頁)「独島」→『三国史記』『新撰八道地理誌』根拠

「独島領有権紛争」(398 頁) →「近隣諸国条項」

(日本は **2005 年**、**島根県**で**竹島の日**条例を定め、) (389 頁)

「日本歴史教科書の韓国史歪曲と我らの対応」(390 頁)

「扶桑社」→(日本では**子供と教科書全国ネットワーク 21** という全国的な市民組織が結成され、我が国の人々とともに該当教科書の採択反対運動で提携した)

「望ましい東アジア 歴史観の定立」(391 頁)

「歴史葛藤解決の模範事例」→『ドイツ・フランス共同歴史教科書』

中高生 63.5%、天安艦の主犯は‘北朝鮮’…44.5%、主な敵は‘日本’

[朝鮮日報] 2011年06月23日(木)午前09:52

2010年12月30日、発刊した国防白書には‘武力挑発を遂行する北朝鮮政権と北朝鮮軍は私たちの敵’。すなわち北朝鮮政権に対する我が国の主敵と明記されている。また、憲法第3条には、大韓民国の領土は朝鮮半島とその附属島嶼と明示されている。憲法と国防白書は、全て北朝鮮政権は反国家団体であることを証明しているということだ。

だが、去年3月、天安艦事件が起きた後、11月、延坪島砲撃事件が起きた。このような武力挑発にもかかわらず、多数の青少年が考える大韓民国の主な敵は北朝鮮でない‘日本’であった。

全国400校余に所属する2500人の中高校生が参加した韓国青少年未来リーダー連合(代表クァク・トフン) (<http://kaya.or.kr>)と、ティンゴラミディオ(<http://teengora.com>)が共同主催・主管した青少年国家観、安保思想アンケート調査結果、63.5%が天安艦事件の主犯は北朝鮮であり、44.5%は、私たちの主敵は北朝鮮(文意から「日本」の誤り?下條)であると答えた。

天安艦事件の原因に対する青少年らの返事は▲米に終結された問題 20.7%(403人)、▲よく分からない 12.0%(235人)、▲暗礁による座礁 3.8%(74人) ▲北朝鮮の武力挑発 63.5%(1239人)で、北朝鮮の武力挑発と考える青少年が絶対多数であることが分かった。

再び北朝鮮の武力挑発が起きた時、我が国の対処方法では▲融和的対応・交渉、太陽政策 27.7%(534人)、▲よく分からない 12.8%(246人) ▲強力な対応・即刻軍事対応、強力な報復 59.6%(1149人)で、今後、北朝鮮の挑発時、北朝鮮に対する強力対応が最も高い数値を記録した。

しかしこのような結果にもかかわらず▲日本 44.5%、▲北朝鮮 22.1%、▲米国 19.9%、▲中国 12.8%、▲ロシア 0.6%で、青少年の44.5%は日本を主敵と考えることが明らかになった。

また、もし大韓民国に戦争が勃発した時に対する応答は▲参戦する。あるいは助ける 19.5%(296人) ▲海外に逃避する 58.8%(892人) ▲国内に残る 21.6%(328人)となり、よく分からないという応答は496人で、過半数以上は海外逃避を考えていることが明らかになった。

結果を見た何人かの学生は、“主敵観調査の結果が意外”と語り、“どうしても北朝鮮は同じ同胞という認識が強く、日本は独島問題のためであるようだ”と話した。

韓国青少年未来リーダー連合は、今回の調査結果を通じ、2期の活動に反映することを明らかにし、ティンゴラミディオも結果と関連したインターネット放送討論プログラムを準備すると明らかにした。

国家観安保思想調査結果内容(対象:全国中高校生 2500 人余<回答者 2012 人>)

天安艦事件の原因に対してどう思うか?

- 1)北朝鮮の武力挑発(63.5% 1239 人)
- 2)暗礁による座礁(3.8% 74 人)
- 3)天安艦事件の原因は、まだ米によって終結された問題だ (20.7% 403 人)
- 4)よく分からない ( 12% 235 人)
- 5)(その他 61 人)

再び北朝鮮の武力挑発が敢行されれば、我が大韓民国が対処しなければならない態度は?

- 1)強力な対応・即刻軍事、外交的対応など(59.6% 1149 人)
- 2)融和的対応・太陽政策、南北対話提案(27.7% 534 人)
- 3 よく分からない ( 12.8% 246 人)
- 4)その他(83 人)

もし、戦争が起こったらどのようにするか?

- 1)参戦するあるいは助ける( 19.5% 296 人)
- 2)海外に逃避する ( 58.8% 892 人)
- 3)国内に残る (21.6% 328 人)
- 4)よく分からない (496 人)

大韓民国の主敵は誰と考えるか?

- 1)北朝鮮( 22.1% 341 人)
- 2)中国( 12.8% 198 人)
- 3)日本( 44.5% 687 人)
- 4)ロシア(0.6% 10 人)
- 5)米国( 19.9% 198 人)
- 6)よく分からない (135 人)
- 7)ない(136 人)

※韓国青少年未来リーダー連合出处/ニュースワイヤー提供

[http://kr.news.yahoo.com/service/news/shellview.htm?articleid=2011062309520018234  
&linkid=4&newssetid=1352](http://kr.news.yahoo.com/service/news/shellview.htm?articleid=2011062309520018234&linkid=4&newssetid=1352)